

研究・調査報告書

報告書番号	担当
49	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Total fluid intake and use of individual beverages and risk of renal cell cancer in two large cohorts. 二大コホート研究における、水分摂取量及び飲料と、原発性腎臓癌リスクとの関連	
執筆者	
Lee JE, Giovannucci E, Smith-Warner SA, Spiegelman D, Willett WC, Curhan GC.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 2006 Jun;15(6):1204-11	
キーワード	
アルコール摂取量、一日水分摂取量、腎臓癌、コホート研究	
要旨	
<p>目的：</p> <p>中等度までのアルコール摂取と、原発性腎臓癌リスクの間には負の関連がみられる、という前向き研究の結果が最近発表されている。その機序として、アルコール摂取により水分摂取量が増加することが、仮説として唱えられている。筆者らの行っている大規模コホート研究にて、同様の結果が得られるか検証することを目的とした。</p> <p>方法：</p> <p>88,759人の女性を20年追跡した Nurses' Health Study と、47,828人の男性を14年追跡した Health Professionals Follow-up Study にて検討を行った。半定量的食物摂取頻度調査票に基づき2~4年毎に各飲料の消費量を、一日水分摂取量は18~22種類の飲料の消費頻度より割り出した。Cox 比例ハザードモデルにて、一日水分摂取量、アルコール消費量及び飲料の種類、原発性腎臓癌発症に関する多重調整ハザード比 (HR) を算出した。</p> <p>結果：</p> <p>一日水分摂取量と原発性腎臓癌発症の間には関連は見られなかった(一日水分摂取量の四分位における最低位群に対する最高位群の、原発性腎臓癌発症に関する HR は 0.99 (95%信頼区間 (CI) =0.63-1.55))。アルコール摂取については負の関連がみられたが、その有意性については境界域であった(一日アルコール摂取量が15g以上の群では、非摂取者に対し原発性腎臓癌発症に関する HR は 0.66 (95%CI=0.43-1.00))。コーヒー、紅茶などアルコール以外の飲料と原発性腎臓癌リスクの間には関連は見出されなかった。</p> <p>結論：</p> <p>筆者らの検討においてアルコール摂取と原発性腎臓癌のリスクの間に負の関連が示唆された。しかしこの検討では、一日水分摂取量が多いほど原発性腎臓癌のリスクが低くなるという仮説は支持されなかった。</p>	